# 未来工業株式会社(7931)

2021年3月期

決算説明



#### ■ 基本情報

商 号 未来工業株式会社

本社所在地 岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695番地の1

創 立 1965年8月

資本金 70億67百万円

従業員数 1,223名 (単体 831名)

事業内容 電気設備資材、給排水設備及びガス設備資材の

製造並びに販売(プラスチック製品製造業)

事業所支店:7ヶ所(営業所:27ヶ所)

工場:6ヶ所

業 績 連結売上高360億69百万円(2021年3月期)

連結営業利益 41億84百万円(2021年3月期)

連結子会社 神保電器株式会社 未来精工株式会社

未来運輸株式会社 · 未来技研株式会社

未来化成株式会社 ・ 株式会社アミックスコム

株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

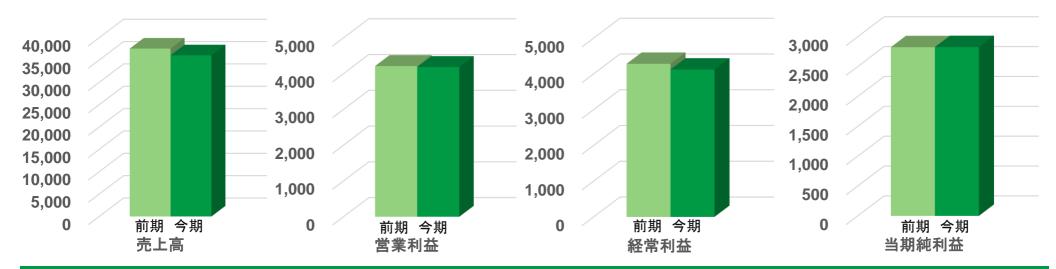
#### ■ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持 <b>株</b> 比率 (%)
未来A.K.O株式会社	2,376	13.1
名古屋中小企業投資育成株式会社	1,495	8.3
清水琴子	1,159	6.4
未来社員持株会	1,016	5.6
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託ロ・75647ロ)	823	4.5
山田雅裕	768	4.2
山田智絵	768	4.2
清水陽一郎	718	3.9
大澤千緒	652	3.6
岩田まりも	649	3.6

<sup>※</sup>上記の他、自己株式7,603千株を保有しております。

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	增減率 (%)
売上高	37,573	36,069	△1,053	Δ4.0
営業利益	4,211	4,184	△26	△0.6
経常利益	4,281	4,121	△160	△3.7
親会社株主に帰属する当期純利益	2,824	2,826	2	0.1

コロナ禍において、建築現場の工事中断や遅延の発生、新設住宅着工戸数減少に伴い減収原材料単価の下落等があったものの減収の影響等により減益 厳しい状況の中、関係者の健康・安全を優先しながら、製品の生産・供給を問題なく実施

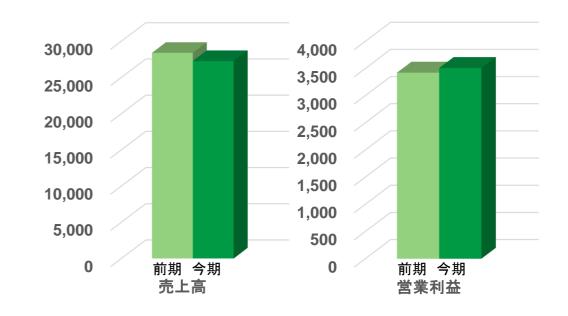


電材及び管材事業

	2020年 2021年		前其	<b>那比</b>
	3月期 実績	3月期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	28,396	27,272	Δ1,123	△3.9
営業利益	3,423	3,509	86	2.5

コロナ禍において、建築現場の工事中断や遅延の発生、新設住宅着工戸数減少に伴い減収 文部科学省のGIGAスクール構想や企業のテレワーク増加に伴い「プラモール」が増加 営業利益は減収の影響等はあったものの原材料単価の下落等により増益

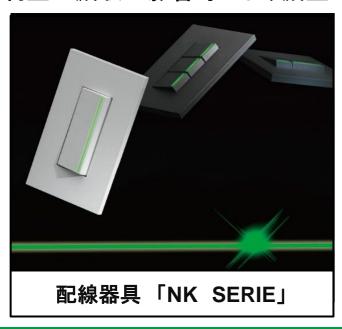


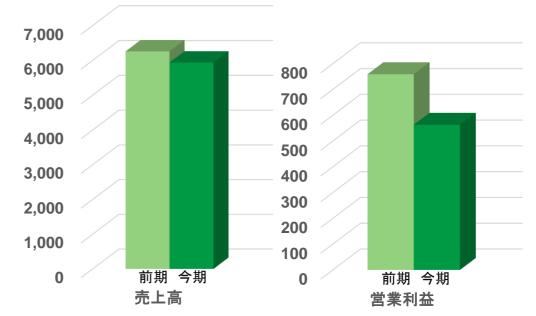


配線器具事業

2020年		2021年	前期比		
	3月期 実績	3月期 実績	増減額	増減率 (%)	
売上高	6,260	5,938	∆321	△5.1	
営業利益	759	563	△196	△25.8	

意匠性の高い配線器具「NK SERIE」は増加 新設住宅着工戸数の減少等により、「J・WIDE」等の配線器具が減少 営業利益は減収の影響等により減益



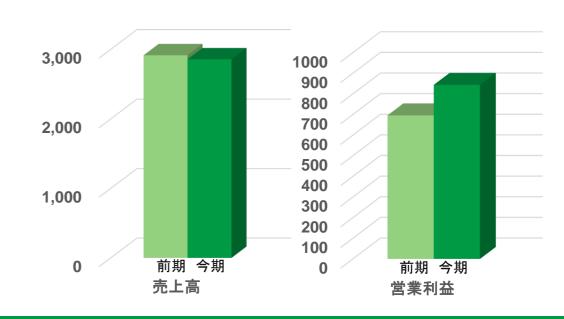


その他の事業

	2020年	2021年	前期比	
	3月期 実績	3月期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	2,916	2,858	△57	Δ2.0
営業利益	696	844	147	21.2

企業の設備投資抑制等により自動車関連向けの樹脂成形機械が減少 営業利益は原価率が高かった前期に比べ増益





## 2022年3月期 連結業績予想の概要

### 新型コロナウイルス感染症による直接的な影響は軽微であり、受注は回復傾向と仮定

(単位:百万円)

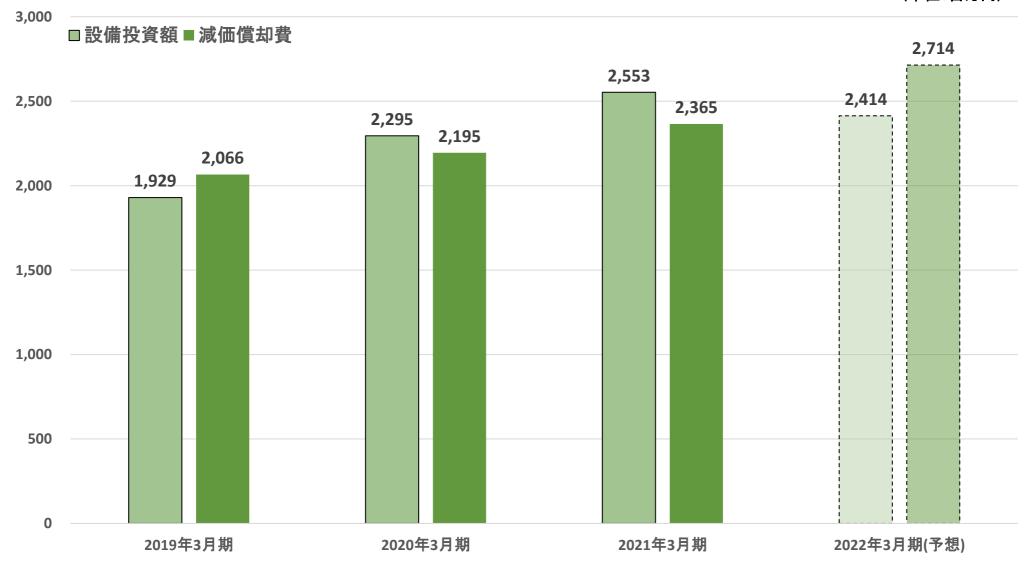
		2021年3月期	2022年3月期	前	ī期比
		実績	予想	増減額	増減率(%)
売上高		36,069	36,932	863	2.4
	電材及び管材	27,272	28,125	853	3.1
	配線器具	5,938	6,104	166	2.8
	その他	2,858	2,702	△156	△5.5
営業利益		4,184	3,484	△699	△16.7
	電材及び管材	3,509	3,137	△372	△10.6
	配線器具	563	436	△126	△22.5
	その他	844	560	△284	△33.6
経常利益		4,121	3,416	△704	△17.1
親会社株主に帰属する当期純利益		2,826	2,312	△514	△18.2

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。 実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

# 設備投資額と減価償却費の推移

#### 新製品金型投資により減価償却費は増加傾向

(単位:百万円)



## 業績や財務体質と配当の安定性を総合的に勘案しながら配当水準の向上に努める方針

